

2005年9月より済生会熊本病院臨床工学部より週2日の派遣で業務を行っており、常勤の臨床工学技士は不在である。

1. ME機器中央管理業務

ME中央管理室の業務は、機器の貸出し、保守点検整備および修理を主たる業務として活動している。

中央管理しているME機器は、人工呼吸器7台(マスクベンチレーションの機器含む)、輸液ポンプ23台、シリンジポンプ8台、経管栄養ポンプ3台、小型シリンジポンプ6台、低圧持続吸引器6台、超音波ネプライザー4台、除細動器4台、AED2台、体外式ペースメーカー2台、ファイバースコープ2台、その他に医用テレメータ、ベッドサイドモニター、自動血圧計、パルスオキシメーター、ジェットネプライザー等である。

図1.人工呼吸器の稼動状況

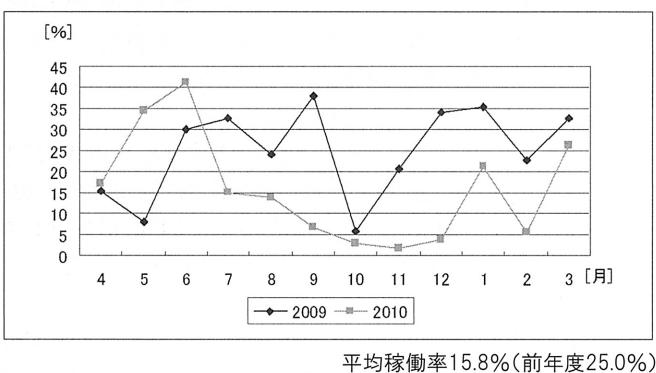


図2.人工呼吸器使用割合

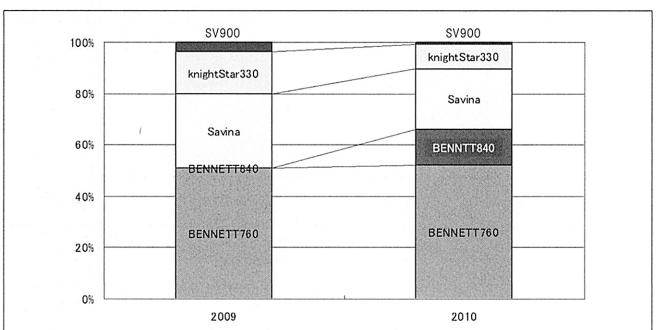


図3.人工呼吸器機種別稼働率

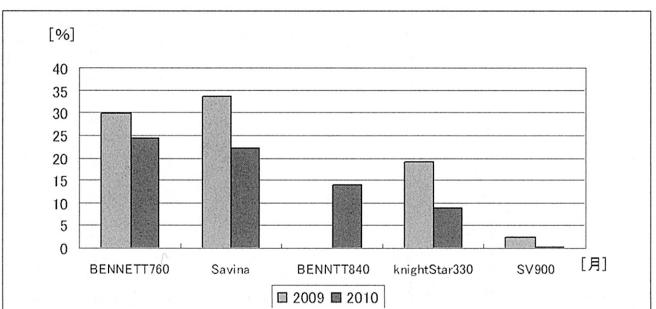


図1において、稼働率を人工呼吸器台数を2009年度は6台、2010年度は7台で算出している。

図2より「SERVO900」は、挿管用人工呼吸器が使用できない場合の予備的な役割を果たしている。新規導入したBENNETT840も操作方法の浸透に伴い稼働率は上昇すると思われる。

2. 病棟機器の修理整備業務

機器の修理・調整は、中央管理機器によらず病棟管理の物品も行っている。

2010年度の修理依頼状況は自動血圧計が最も多く、次いで吸引器であった。

酸素流量計は、故障が少なく高精度なダイヤル式に更新の途中ではあるが、故障件数は減少傾向となっている。病棟モニターの電解強度試験を実施し快適な電波状況であることを確認した。

3. 人工呼吸器業務

人工呼吸器が必要な緊急時は、機器を選定しベッドサイド配置及び呼吸器設定の補助を行っている。

定期的な回路・フィルタ交換を行っている。

要望があれば回路構成の変更も行っている。

4. ペースメーカー業務

対外式ペースメーカーの電極挿入時にジェネレーター操作及びサポートを行っている。

5. 手術室業務

麻酔器の定期点検を行っている。

要請があれば手術の補助も行っている。

脳外科のMEP業務や外科の内視鏡操作も対応可能である。

図5.手術助手業務件数

2010年度の手術助手依頼数5件で、対応できたのは腎泌尿器科2件であった。(前年度20件)

6. ME教育・指導

ME機器の原理、構造、適切な使用法の勉強会を行っている。

起こりうるトラブルとその対処、安全対策等に関して随時情報提供を行っている。

トラブルの報告があった際は、迅速に対応・原因追求して返答し、その情報をME中央管理室に蓄積して、メーカーとの協議を行っている。